

決算特別委員会会議録

作成者 議会事務局 副主幹 石井繁治

日 時 平成28年9月15日(木) 午前9時25分～午後3時7分

場 所 庁舎3階 第一会議室

出席者 田辺正弘委員長、前之園孝光副委員長、森建二委員、蛭田公二郎委員、石渡登志男委員、
倉持安幸委員(午後欠席)

議会事務局 秋本事務局長 石井

《概要》

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 金坂市長から平成27年度決算の総括的な概要説明。

4 審査事項

【財政課審査】 午前9時46分～午前10時25分

出席職員：石川課長、戸田副課長、斉藤班長、森川班長、佐々木主事

財政課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

蛭田委員 ふるさと納税が増えて大変喜ばしい。謝礼品の拡充、ネット、クレジット決済はいつからか。

石川課長 制度の拡充は平成27年5月から実施、ヤフーを利用することにより全国から寄付ができクレジットカードでの決済ができるようにした。謝礼品の拡充は、市内の特産品のみであったが、九十九里地域の特産品を取り入れ拡充した。

前之園副委員長 他の市町村へのふるさと納税はどのくらいあったのか。

森川班長 平成27年中、本市から他市町村へ425件、40,578,000円あった。うち税額控除の対象は16,216,000円。

石渡委員 魅力ある特産品を増やさないと、増えて行かない。この特産品に魅力があったという品は。

石川課長 一番に鶏の肉、二番にマスクメロン、三番にひもの、四番に真紅の美鈴、五番にガラス工芸品であり、以上が上位5品である。

石渡委員 白子町はたまねぎが有名。市もこれだと思つて特産品を。バックアップ、努力が必要。要望として。

森 委員 観光に携わつたが、5年10年して結果が出ることが多い。31ページふるさと応援寄付金事務代行業務委託料の内容は。

森川班長 カタログから品物、発注から発送まで一括して委託している。1,671件の実績。

前之園副委員長 基金が減っている。どう思うか。

石川課長 人口減少のなか、駅前、スマートインター、子育て、学校等ほかにやらなければならない。歳入の

確保を図りながら事業を行う。補助事業年々変わっている。全体のバランスを取りながらとなる。
前之園副委員長 庁舎について、今後の考え方は。
石川課長 庁舎は築45年になる。今年度、老朽化調査を行う。結果を持って移転か修繕か判断していく。

とりまとめ

前之園副委員長 ・自主財源の確保と財政の健全化に努められたい。
倉持委員 ・みどりが丘市有地の有効利用の検討。今後の庁舎のありかたについて検討されたい。

—休憩—

【企画政策課審査】午前10時36分～午前11時29分

出席職員：菅原課長、山本副課長、鈴木班長、須永主査

企画政策課長 提出資料に添って説明。

(質疑)

蛭田委員 14ページ、後期基本計画策定委託、18ページ、圏央道スマートIC周辺地域整備方針検討委託料の内容、委託先は。
菅原課長 後期基本計画の策定は千葉銀総研へ委託している。内容は、アンケートの実施、分析、審議会資料の作成、製本。スマートインターチェンジ周辺調査はURリンクージュへ委託している。内容は、土地の形態、地権者調査、開発の可能性の調査をしている。企業へヒアリングを行い、進出についての意向確認を実施した。計画策定をした。
委員長 策定にあたり、担当課からこのような内容だと要望しているのか。
菅原課長 内容は市で策定している。技術的な支援をしてもらっている。
森 委員 まち、ひと、しごと総合戦略は自前か。
菅原課長 自前です。
森 委員 19ページ、マイナンバーシステムについて説明を。
山本副課長 行政組合で共同処理をしている。マイナンバーにかかるシステム改修を平成26年度、平成27年度、平成28年度の3年間で行うことになっている。
森 委員 行政組合の負担金の割合は。
山本副課長 一市二町で均等割10%、人口割90%の負担となっている。負担金の見直しも検討している。
石渡委員 9ページ、路線バスの白里地区の利用者は。
菅原課長 平成27年度の白里新路線の利用者は2,800人。朝の便は多いが1便当たり平均1.0人である。路線バスがあるなかで、コミバスを走らすと既存バスの廃線になりかねないので、このようなかたちになった。
石渡委員 赤字が減るよう工夫することを要望する。
前之園副委員長 プレミアム商品券の効果は。子育て応援給付事業、こども医療対策事業の内容は。
菅原課長 歳入は企画政策課、歳出は、担当課になる。プレミアム商品券は産業振興課。子育て応援給付事業、こども医療対策事業は子育て支援課。詳しくは担当課で。

倉持委員 大網駅の始発は午前5時15分、昨年10月から5分早くなり4時55分に開くようになった。暗闇のなか乗客が待っている。もう少し早くシャッターを開けられないか。東金線複線化を要望しているが、出来る訳がない。出来ることを要望してみてもどうか。

菅原課長 名称はJR東金線複線化協議会だが、要望内容は、ダイヤ改正、終電を遅くしてもらいたい。本数を増やしてもらいたいがメインとなっている。シャッターは、大網駅の駅長の判断で、安全確認の手順を見直すことにより5分早く開けられようになった。これ以上早く開けるは、無理だと思う。要望として聞いておく。

蛭田委員 キャラクターの新しいデザイン増えてきた。いくつあるのか

鈴木班長 9パターン増えて、現在13パターンである。

森 委員 キャラクターの効果は高い。パターンは増やした方が良い。推進をしてもらいたい。

とりまとめ

倉持委員 正副委員長に一任

前之園副委員長 ・白里地区の公共交通のありかたについて、引き続き検討されたい。
・市の将来を見据えた独自性のある政策づくりを積極的に推進されたい。

— 休 憩 —

【秘書広報課審査】午前11時35分～午前11時58分

出席職員：中古課長、田邊副課長、山田班長

秘書広報課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

石渡委員 ホームページの広告5社は少ない。あまり知られていないのでは。

中古課長 ホームページ以外でも掲載依頼のお知らせをしていきたい。

森 委員 具体的に5社は。

山田班長 翔和緑化、保険の窓口、アメリカンファミリー、マルコンペイント、特養ホーム恵光園の5社。

前之園副委員長 広報紙の発行部数は。折込部数は。

田邊副課長 平成27年度の発行部数は217,800部、月平均18,150部、折込15,735部、郵送410部、残りを公共施設に配布している。

前之園副委員長 全世帯に対しての割合は。

山田班長 平成28年2月現在で、世帯に対し86.7%である。

前之園副委員長 市の情報紙であるので、市民の方にいきわたる方法を検討してもらいたい。

石渡委員 折込は定価なのか。割引があるはず。

田邊副課長 業者に単価を提示してもらい一番安い業者と契約している。

石渡委員 大きさによって違うが金額は。

中古課長 折込料は、印刷所から新聞店への配送費を含めて単価の競争をしている。折込の単価ではない。

石渡委員 正規の金額から比べたら1枚あたり、どのくらい安くなるのか。妥当な金額を把握しないと、業

者の思うままになる。

- 田邊副課長 業者からの見積もりを精査して、契約金額が妥当か検討したい。
- 倉持委員 市長への手紙は、月どのくらい来ているのか。対応は。
- 中古課長 平成27年度181件、月平均15件、回答が必要なものには回答している。
- 倉持委員 市長が回答しているのか。
- 中古課長 市長名で回答している。市長には確認してもらっている。

とりまとめ

- 倉持委員 正副委員長一任
- 前之園副委員長 ・広報紙の配信方法について積極的な活用を検討されたい。

— 休 憩 —

【総務課審査】午後1時～午後1時20分

- 出席職員：堀江課長、北田副課長、加藤岡班長、高橋班長
- 総務課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

- 前之園副委員長 被災地への派遣職員は何年ぐらいか、現地での事故対策は。
- 加藤岡班長 山元町の意向は、もう3年くらい派遣が必要とのこと。派遣職員は山元町の職員身分でもあるので、健康診断を受けている。
- 前之園副委員長 同じ職員なのか。交代しているのか。
- 加藤岡班長 1年で交代している。今年で3年になるが、別の職員である。
- 前之園副委員長 公文書の保管場所は。
- 高橋班長 第二分庁舎書庫と有料書庫として戸田倉庫である。
- 前之園副委員長 旧大網小学校は使えないのか。協議はしていないのか。
- 堀江課長 教育財産なので、教育委員会の所管のなかで活用を検討するものである。
- 森 委員 臨時職員の社会保険料負担金、どれだけの人数か。
- 加藤岡班長 社会保険料は、労使折半で負担している。4月1日現在、社会保険に加入している臨時職員は135人。
- 田辺委員長 市議会議員選挙の公費負担の上限は。使用した金額は。
- 高橋班長 予算として23,196,000円、候補者からの請求は10,772,037円。
- 蛭田委員 予算としてあったが、使わなかったという事か。
- 高橋班長 自動車の借り入れ、燃料代、ポスター代とあるが、ポスター代の請求は25名中22名から請求があった。自動車は25名のうち17名から請求があった。
- 前之園副委員長 時間外と職員の過労について。
- 堀江課長 税の申告期間、選挙など時期的な加重労働は起こり得る。ケアとしてそれぞれの部署毎で交代で休みを取ったり、自己管理に努めている。

前之園副委員長 職員の健康管理に目配りをしてもらいたい。

とりまとめ

- 前之園副委員長
- ・職員の適正配置に努められたい。
 - ・職員のメンタルヘルスの充実を図られたい。
 - ・投票率の向上のため、バランスのとれた投票所の設置に努められたい。

— 休憩 —

【安全対策課審査】午後1時24分～午後1時52分

出席職員：石川課長、鵜沢副課長、内山班長、北田班長

安全対策課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

前之園副委員長 1ページ消防費、広域行政負担金はどのように算出されるか。

鵜沢副課長 財政力割と普通交付税の算定によると聞いている。

蛭田委員 1ページ防災行政無線費、前年に比べ1億3,000万円減少している。毎年設置しているのか。

鵜沢副課長 昨年度はデジタル化のため、無線機を交換したそのための購入費があった。

前之園副委員長 何個購入したのか。

鵜沢副課長 昨年度3,300個購入し、3,000個交換した。

蛭田委員 それだけ需要があったのか。

石川課長 アナログ方式からデジタル方式へ移行した。それに対応する受信機を購入した。

前之園副委員長 今後のニーズは。自己負担は。

石川課長 新たに購入する場合は、10,000円負担してもらっている。交換は無料である。

前之園副委員長 いくらか。

石川課長 1機40,000円のうち自己負担は10,000円である。

蛭田委員 聞こえずらいという声がある。防災無線広げる計画は。

石川課長 天候等により聞こえにくい、うるさいとか、すべてを網羅するのは難しい。

石渡委員 23ページ、災害対策費用、津波避難ビルに対する補助金内容は。

石川課長 プラセル九十九里の外階段実施設計費を補助金として100%出している。

蛭田委員 23ページ、自主防災、地域防災組織育成事業補助金は今までであったのか。

石川課長 地域コミュニティ補助金、みどりが丘防災会へ補助金として出した。

前之園副委員長 どのような整備をしたのか。

鵜沢副課長 発電機1台、テント1張、灯光器2機である。

森 委員 駐輪場委託料、一人当たりの時間単価は。

石川課長 シルバー人材の業務に係る単価は決まっている。

森 委員 シルバー人材だから一般的に安いのか。

石川課長 シルバー人材の時給は昼間800円、夜間1,000円である。

森 委員 現場を理解していない人がいる。間違いが多い、市の玄関口でもあるので教育してもらいたい。
石川課長 シルバー人材に指導する。
前之園副委員長 17ページ、消防団活動費、減の理由は。
石川課長 平成26年度は防寒服を購入したため。

とりまとめ

前之園副委員長 ・消防団活動費の更なる充実に努められたい。
・駐輪場のサービスの改善を図られたい。
・防災、防犯、交通安全に限らず市民生活の安全にも考慮されたい。

— 休憩 —

【税務課審査】午後2時6分～午後2時34分

出席職員：板倉課長、飯高副課長、内山班長、斉藤班長
税務課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

森 委員 固定資産税、市民税、収納高くないのではないかと。滞納繰越分のさかのぼりは、何年間まで回収すべきものか。回収できない場合どうなるのか。
板倉課長 税は原則5年である。ただし5年の間に滞納処分があればリセットされる。最終的に不納欠損、債権放棄になる。
森 委員 昨年度の欠損の金額は。
斉藤班長 平成27年度、市税57,809,133円。国民健康保険税70,437,473円合計1億28,246,606円である。
森 委員 税金、固定資産税、市民税、本市のきもになる、さらなる努力を要望として。
前之園副委員長 欠損は何名くらいか。
斉藤班長 市民税1,238人、国保690人、計1,928人である。
森 委員 収納率上がっているのか。
板倉課長 市税はよこばいか上がっている。国保は、約6%上がっている。
森 委員 具体的施策があったのか。
板倉課長 昨年、現年分をがんばった。国保は平成30年県に一括される。収納率上がると特典がある。
前之園副委員長 工夫したのか。
板倉課長 平成27年度から県税OBを採用した。アドバイスを受けている。
蛭田委員 収納率上がった。努力している。一方で国保徴収だけ強める。強引な取り立てに繋がることは、やめてもらいたい。調定額は。
板倉課長 調定額は減ってきている。
蛭田委員 一人あたりは。
内山班長 国保一人当たりの調定額は減っている。

蛭田委員 収納率上がっている。収納を上げることが担当課の仕事であるが、結果として高すぎる、国保税で生活を苦しめることのないように。

飯高副課長 税の滞納者は、国保税だけではなく他の税も滞納していることが多い。徴収全体が上がっている。無理にとりたてて国保の収納が上がっているわけではない。

森 委員 税込に努めてもらいたい。

前之園副委員長 個人の滞納で多い額は

板倉課長 約900万円である。

とりまとめ

前之園副委員長 ・引き続き市税の収納率の向上と滞納額の減少に努められたい。

— 休 憩 —

【市民課審査】午後2時38分～午後3時7分

出席職員：小川課長、飯田副課長、吉原所長、古内班長、茂田班長

市民課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

前之園副委員長 16ページ、国保特別会計繰出し金が増えた理由は。

茂田班長 保険税の軽減が増えた分、増額になった。

森 委員 個人番号カードの発行は9%くらいと聞いた。交付率が低いのではないかと。臨時職員を使っているようだが、どう考えているか。

小川課長 本市の交付率9%、県6.3%、国6%である。1階ロビーに特設コーナーを設け、交付のため臨時職員を4名あて対応した結果だと思ふ。利用者のメリット、サービスがまだ立ち上がっていない。これ以上の交付率は期待できないと考える。

森 委員 市民側の用意する書類が多い、何度も市役所へ行かなければならないなど、市民の理解は難しい。引き続きお願いする。

前之園副委員長 3ページ 保険財政共同安定化事業交付金、大幅な増額の理由は。

茂田班長 23ページの資料で説明。市町村間の保険料の均衡、国保財政の安定を図るため、一旦プールして再度配分する。歳出して歳入となる。国保財政の幅を広げることにより、きめ細かいサービスとなる。

とりまとめ

前之園副委員長 ・医療費の抑制のため予防活動に重点を置きながら推進されたい。

・個人番号カードの普及に努められたい。

5 散 会